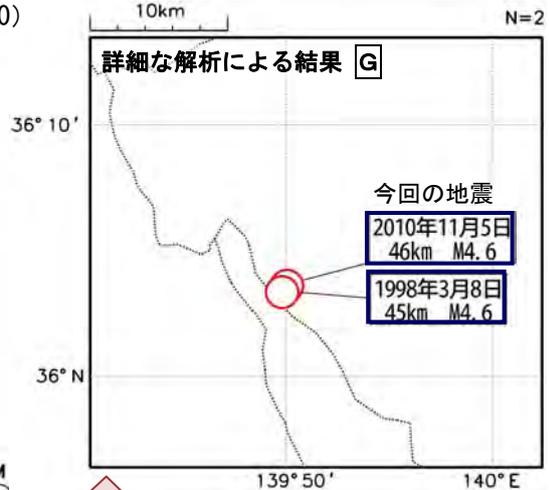
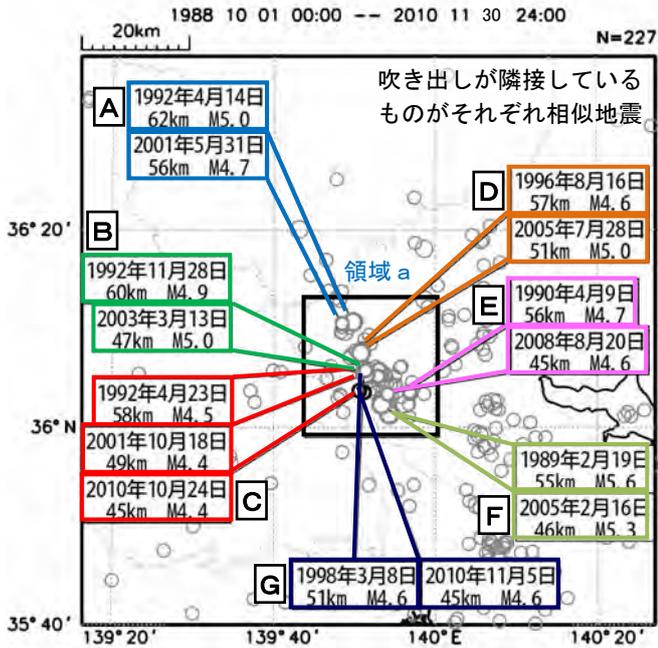


# 11月5日 茨城県南部の地震

フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生したいくつかの相似地震

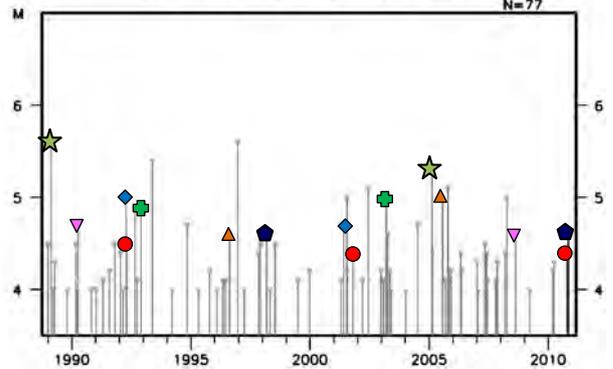
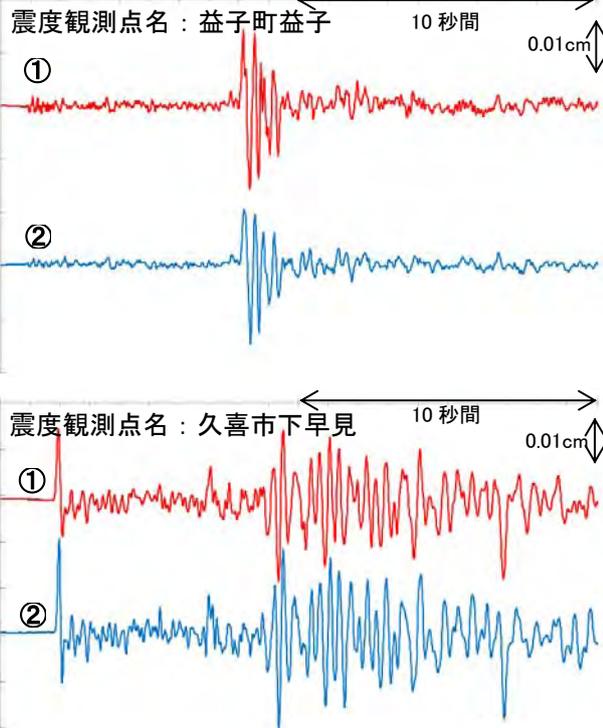
震央分布図 (1988年10月以降、深さ0~120km、M $\geq$ 4.0)



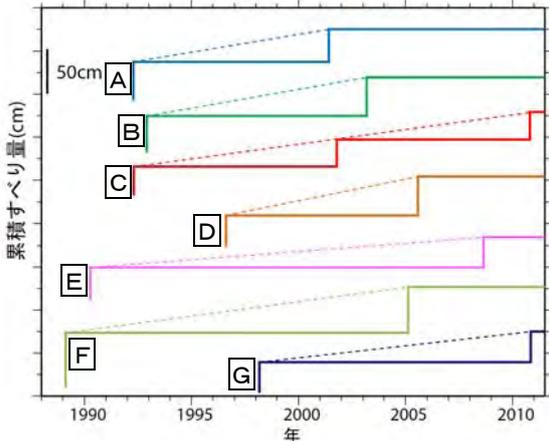
領域a内の地震活動経過図  
同シンボルがそれぞれ相似地震  
1988年10月01日00:00 -- 2010年11月10日24:00

波形の比較 (上下動成分)

①1998年3月8日M4.6, ②2010年11月5日M4.6



(参考) 各グループの累積すべり量グラフ



※平均すべり速度

A 4.1cm/年、B 4.4cm/年、C 3.4cm/年、D 5.0cm/年、E 1.9cm/年、F 3.4cm/年、G 2.8cm/年

今回の地震は1998年3月8日 (M4.6、最大震度4) の地震と同一観測点における波形が非常によく似ている。また、詳細な解析結果によると、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界に位置する、ほぼ同じ場所が破壊されたものと考えられる。

このほかにも、今回の地震の震源付近 (領域a) では、1989年2月19日 (M5.6、最大震度4) と2005年2月16日 (M5.3、最大震度5弱) の地震など、相似地震がいくつかのグループに分類されている。これらの累積すべり量から推定されたすべり速度 (年間約2~5cm) は、この付近のフィリピン海プレートの沈み込み速度 (年間約2~3cm) と矛盾しない。